区民委員会 所管事項

【区民部】

区民部の所管事項のうち、まず今年度、特に課題となっている事項について、次のとおり報告する。

１　特別区民税、保険料の収納率向上及び滞納整理の強化

（１）各公金ともに、収納率の一層の向上と収入未済額の縮減に向けた取り組みを行う。

納付困難な区民に対しては、個々の実情に応じ、徴収猶予制度の適用及び執行停止や欠損処理を行うなど、柔軟に寄り添った対応を行う。

（２）特別区民税は、納税課に新設した「納税事務支援係」に督促事務を集約し、滞納整理係が差押え等の判断を要する専門業務に注力できる体制を確立する。

（３）国民健康保険料は、令和８年６月適用の「第四次足立区滞納対策アクションプラン」に基づき、滞納フェーズ（未納・初期・中後期）に応じた的確なアプローチを展開する。

（４）国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料について、延滞金及び還付加算金制度を開始する。制度の円滑な運用に向け、区民への丁寧な説明を徹底する。

２　戸籍住民課窓口事務の効率化とマイナンバー関連業務への対応

（１）戸籍住民課窓口等業務委託について、令和８年６月から、従来の委託内容に転出、印鑑登録、証明書の郵送請求等を加え、委託範囲を拡大する。

事業者との緊密な調整により、円滑な業務移行と窓口混雑の緩和を図る。

（２）マイナンバーカード交付について、令和８年５月から交付窓口を中央館２階に５窓口増設し、月あたり約３，０００件の交付数増加を図る。

これにより、区民が申請してから交付されるまでの所要期間を、国が示す基準である４５日以内に短縮していく。

３　外国人住民への対応強化

「外国人との共生に関するＰＴ」で作成した多言語案内動画のさらなる周知に向け、区民部各課での動画案内用紙の配布、国保だより等への二次元コード掲載を行う。

４　その他

区民部については、令和８年度所管事務概要４１ページから４８ページに記載

【地域のちから推進部】

地域のちから推進部の所管事項のうち、まず今年度、特に課題となっている事項について、次のとおり報告する。

１　住区センター、地域学習センター、スポーツ施設、図書館等の適切な施設管理

（１）多くの公共施設が建設から数十年を経過し、建物設備の老朽化が課題となっているが、定期的な保守点検や必要に応じた改修等を実施することにより、これまで通りの区民利用を維持していく。

（２）今年度は花畑地域学習センター、来年度にはギャラクシティの大規模改修が予定され、また住区センター等は毎年計画的に改修工事を実施している。一方で、改修工事の資材費や人件費の高騰により、改修費用が当初見込みを大幅に上回ることも考えられるが、区民が安全かつ十分に利用できるよう施設維持及び改修を検討していく。

２　増え続ける外国人との共生

（１）多文化共生推進計画については、現計画の内容を抜本的に見直し、改定する。

（２）外国人の日本語学習を支援するため、日本語ボランティア養成講座の拡充による日本語ボランティア教室への支援強化や、外国にルーツを持つ子どもの学習支援事業の定員拡充を実施する。

（３）外国人との交流を支援するため、国際交流イベントを現在の庁舎ホールから会場を変更して開催する。加えて、小中学校向け国際理解教育の充実を図る。

３　中央図書館のリニューアル

（１）「本を読む人も読まない人も訪れる図書館」をコンセプトとして、基本構想・基本計画を策定する。

（２）リニューアルに対する区民からの意見聴取を図るため、積極的な意見交換が可能なワークショップを開催するとともに、意見受付フォームを開設する。

４　開館４０周年を迎える郷土博物館の事業展開

（１）今年度は、足立区東部地域に支えられた日本画家「門井掬水」の特別展を、過去に類を見ない規模の作品数で開催し、美術業界での知名度向上を図る。

（２）開館初期を象徴する美術資料である浮世絵に注目した企画展を実施する。また出張展示等も行い、収蔵作品の豊かさを伝える展示事業を展開していく。

５　その他

地域のちから推進部については、令和８年度所管事務概要４９ページから６２ページに記載